

Ⅰ．事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	下九一色地区消火栓及び消火栓関連資機材整備事業	市川三郷町	5,016,600	4,400,000	

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	下九一色地区消火栓及び消火栓関連資機材整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		市川三郷町			
交付金事業実施場所		下九一色地区			
交付金事業の概要		整備予定地区である下九一色地区の消火栓及び関連資機材は、老朽化が進み損傷が激しく災害時に機能を果たせない可能性があり、有事の際の地域住民の安全確保が危惧されるため、消火栓及び消火栓関連資機材を改めるものである。			
総事業費		5,016,600	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,400,000 4,400,000	
交付金事業の成果目標		本事業を実施し消火栓及び関連資機材を一新することにより、万が一災害が起きた場合に置いても瞬時に対応でき、有事の際の地域住民の安心・安全な環境を確保することができる。			
交付金事業の成果指標		下九一色地区の老朽化した消火栓16基の内の11基及び消火栓関連資機材を改め、68.75%の整備を完了させる。			
交付金事業の 成果及び評価		下九一色地区の消火栓及び関連資機材は老朽化が進み損傷が激しかったが、本交付金事業を平成27年度及び平成28年度の2年間において活用し、下九一色地区の老朽化した消火栓16基の内、11基の消火栓及び消火栓関連資機材を改めたことで、68.75%の整備を完了することができた。 万が一災害が起きた際には、整備済消火栓については、使用する100%が機能を果たすことができる。 また、地域住民の高齢化も顕著であるため、従来から比べて作業の危険性を大幅に軽減することにも繋がった。			
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方	契約金額
地域住民の安全確保を図るため、老朽化が進んだ消火栓関連資機材を改める		指名競争入札、随意契約		㈲丸松、㈱フジ・フロンテ、三和防災㈱	5,016,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H31年度